

●2011年 誌上ジャッジスクール

1. 誌上ジャッジスクール 2011 (1)

- ・ジャッジスクールによるこそ
- ・なぜ曲技飛行なのか
- ・曲技飛行と曲芸飛行
- ・競技としての曲技飛行
- ・公正性と公平性

2. 誌上ジャッジスクール 2011 (2)

- ・曲技飛行競技会の実際
- ・エアロバティックスボックス
- ・5つのカテゴリー
- ・競技飛行の種類

3. 誌上ジャッジスクール 2011 (3)

- ・フィギュアの判定と採点方法
- ・フィギュアの判定の基礎
- ・ターンについて
- ・フィギュアを構成するライン
- ・ループの判定方法
- ・フィギュア中のロールの指示
- ・スピンについて
- ・ハンマーヘッド

4. 誌上ジャッジスクール 2011 (4)

- ・2011年スポーツマンノウンの解説
- ・45アップライン
- ・1/4ターンスピン
- ・ハンマーヘッド、1/4ロールダウン
- ・リバーシャークストウース
- ・ループ
- ・ハーフキューバンエイト
- ・ハンブティバンブ
- ・リバーハーフキューバンエイト
- ・2ポイントロール
- ・270ターン
- ・全体として見たシークエンスの問題点

5. 誌上ジャッジスクール 2011 (5)

- ・プレゼンテーションとは
- ・ハードゼロ！ 思いがけない0点を防ぐために

2012年 誌上ジャッジスクール

1. 今年の誌上ジャッジスクール 2012 (1)

- ・IACルールブックの翻訳作業
- ・ジャッジスクールの開催
- ・新たなジャッジラインへの変更
- ・第2回競技会を振り返って
- ・第3回競技会に向けて

2. 誌上ジャッジスクール 2012 (2)

2012年度のルールの変更箇所とノウンの解説

- ・2012年度 IAC コンテストルールの変更箇所
 - ・アレスティカタログの改編
 - ・新たなフィギュアの追加
 - ・飛行高度制限とペナルティの変更
 - ・滑空機にアドバンストカテゴリーが追加
 - ・天候を理由とする競技飛行の途中中止
 - ・ノウンシークエンスの開始方向
 - ・その他

・2012年ノウン(規定科目)の解説

- ・スポーツマンカテゴリー、ノウンの紹介
- ・スポーツマンノウンの注意点と助言
- ・インターミディエイトカテゴリー、ノウン
- ・45アップでのスナップロール
- ・スクエアループ
- ・スナップロールの基礎
- ・競技飛行を目標としたスナップロール
- ・スナップロールを行う上での注意
- ・アバランチとしてのスナップロール
- ・ローリングターン

3. 誌上ジャッジスクール 2012 (3)

フリースタイル競技とアンノウンの解説

- ・フリースタイル(フリー)とは
- ・競技会でのフリー飛行の扱い
- ・スポーツマンでフリーを選択する利点
- ・フリーに何を求めるか
- ・高得点を求めてのフリー
 - ・総Kファクター数を最大許容値にする
 - ・フィギュア数を許容された最大値にする
 - ・スピンに関して
 - ・ダウンウインド上のフィギュアに関して
 - ・クロスボックスフィギュアに関して
 - ・無理のないシークエンスにするために
 - ・使用する競技機の特徴を考える
 - ・フリーについての補足
- ・アンノウンとは
- ・発表されたアンノウンを手にして
- ・アンノウンに向けての練習方法
- ・競技ボックスへの進入

4. 誌上ジャッジスクール 2012 (4)

あと5%の得点を目指して

- ・70%台の得点を目指して
- ・数多くの小さな減点箇所
 - ・水平直線飛行(水平ライン)
 - ・45度ライン
 - ・垂直ライン
 - ・ライン移行時のバンピング
 - ・ロール停止時のバンピング
 - ・コンペティションロール
 - ・ループ
 - ・ハンマーヘッド
 - ・ロール前後の時間配分
- ・おわりに

2013年 誌上ジャッジスクール

1. 誌上ジャッジスクール 2013 (1)

第3回全日本曲技飛行競技会を振り返って

- ・ ジャッジスクールへの取り組み
- ・ 3人1組でのジャッジング
- ・ セーフティパイロットとしての参加
- ・ 今年(2013年)の取り組み

2. 誌上ジャッジスクール 2013 (2)

2013年ルール及び判定基準の改正点と Known
実施上の注意点等

- ・ 2013年のルール及び判定基準の改正点
 - ・ パーシャルループの半径の相互関係
 - ・ 飛行方向の特定
 - ・ 予選 (Qフライト) の取り扱い
- ・ プライマリーノウン
- ・ スポーツマンノウン
- ・ 他カテゴリーのノウンシークエンス
- ・ 曲技飛行訓練環境の拡充